



キッズハウス・キッズギルド  
支援プログラム



## 基本情報

事業所名	Kids-House ULU
作成年月日	2025年3月1日
事業所理念	発達支援が必要な子供たちが安心して成長できる「第3の居場所」として、家庭や学校と連携しながら個々のニーズに応じた支援を提供します。
支援方針	個別最適化された支援
	主体的な活動促進
	家庭・学校・地域との連携
	専門的支援の提供
営業時間	09:00~19:00
送迎実施	有り

# キッズハウス 支援プログラム

1 支援の理念

2 支援方針

3 支援プロセス

4 支援内容

5 職員の質の向上

6 主な行事・イベント

# キッズハウス 支援プログラム

## 1 支援の理念

2 支援方針

3 支援プロセス

4 支援内容

5 職員の質の向上

6 主な行事・イベント

# 支援の理念

キッズハウスは、発達支援が必要な子どもたちが  
安心して成長できる『第3の居場所』として、

家庭や学校と連携しながら  
個々のニーズに応じた支援を提供します

一人ひとりの特性に寄り添い、  
『楽しい!』という感情を大切にしながら、  
自立・社会参加スキルを育みます



# キッズハウス 支援プログラム

1 支援の理念

**2 支援方針**

3 支援プロセス

4 支援内容

5 職員の質の向上

6 主な行事・イベント

# 以下の支援方針を大切にし、子どもたちの発達をサポートします

## 個別最適化された支援



各児童の  
特性や成長段階に応じた  
個別支援計画を作成し  
**適切なプログラム**を提供します

## 主体的な活動の促進



子ども自身が興味を持ち、  
意欲的に取り組める環境を整え  
**自己決定を尊重**します

## 家庭・学校・地域との連携



家庭・学校・地域社会と  
密に連携  
**支援の継続性を確保**します

## 専門的支援の提供



言語聴覚士・作業療法士・理学療  
法士などの専門職が関与  
発達段階に応じた  
**適切な療育を実施**します

# キッズハウス 支援プログラム

1 支援の理念

2 支援方針

**3 支援プロセス**

4 支援内容

5 職員の質の向上

6 主な行事・イベント



# 支援プロセス

以下のプロセスを踏みながら継続的にアプローチします

## ① アセスメント

生活情報を  
収集

領域ごとの  
課題分析

特性評価

支援の第一歩として、  
保護者からのヒアリングや観察を通じて、  
子どもの発達状況や課題を詳細に把握

また、各領域

健康・生活

運動・感覚

言語・  
コミュニケーション

認知行動

人間関係・  
社会性

ごとに

課題を分析し、個々の特性を明確化

## ② 個別支援計画の策定

目標設定

プログラム  
作成



アセスメントの結果をもとに、  
子どもが『がんばればできそう!』と感じられる  
適切な目標を設定

また、各領域

健康・生活

運動・感覚

言語・  
コミュニケーション

認知行動

人間関係・  
社会性

ごとに

具体的な計画を立て、無理なく成長できるようサポート

# 支援プロセス

以下のプロセスを踏みながら継続的にアプローチします

## ③ 療育の実施



個別療育



集団療育

個別支援計画に基づき、  
子どもたちが**楽しみながら成長できる環境**を提供

**個別療育**(1対1の支援)と**集団療育**(グループ活動)を  
適切に組み合わせながら、**発達を促進**



## ④ モニタリング・見直し



進捗確認



定期評価

支援を行う中で、  
子どもの**発達状況を定期的に評価**  
必要に応じて**個別支援計画を見直し**

スタッフ間で情報を共有  
**継続的に質の高い支援を提供**



# キッズハウス 支援プログラム

① 支援の理念

② 支援方針

③ 支援プロセス

**④ 支援内容**

⑤ 職員の質の向上

⑥ 主な行事・イベント

# 3つの支援

キッズハウスでは、以下の3つの支援を行います

①

本人支援



②

家族支援



③

移行支援



# ① 本人支援



## A 健康・生活

食事・整容・排泄・着替え・準備・片付け等  
日常生活に必要なスキルを身につける支援

自立に向けた基本的な生活習慣を、  
実際の生活場面の中で  
習得できるよう促す



## B 運動・感覚

粗大運動・微細運動を通じて、  
基礎的な運動機能を向上させ、  
身体の使い方を学ぶ

**粗大運動** 姿勢保持・移動・体づくり・ジャンプ・ボール遊び等

**微細運動** つかむ・ひねる・はめる・描く・切る等

## C 言語・コミュニケーション

### 就学前の子ども

ジェスチャーや指さしなどの非言語コミュニケーション・  
語彙の習得・指示の理解のサポート

### 就学後の子ども

文章の読解・表現力の向上・行動のコントロールなどを  
指導

## D 認知・行動

色や形の認識・数の理解・感情表現・  
時間の概念などを学び、

適切な行動ができるように支援








## E 人間関係・社会性

集団行動スキル・園や学校生活への適応  
支援・地域生活での社会適応をサポート

子どもたちが社会に出ても困らないよう、  
「実践的な社会スキル」を  
育む支援



# ① 本人支援

領域		支援内容
 A 健康・生活		食事・整容・排泄・着替え・片付け
 B 運動・感覚	粗大運動	姿勢・移動・体づくり・ジャンプ・ボール遊び
	微細運動	つかむ・ひっぱる・つまむ・描く・切る
	体育	跳び箱・鉄棒・走る運動
 C 言語・コミュニケーション	就学前	非言語(ジェスチャー・指さし)・語彙習得
	就学後	文章の読解・表現・行動コントロール
 D 認知・行動		色・形・数・感情理解
 E 人間関係・社会性		集団活動・社会的スキル

## ② 家族支援

発達状況の見立て

計画の策定

実行のサポート

相談・助言

家庭での支援の継続をサポートするため、  
**保護者との情報共有やアドバイス**を行う

発達状況の見立て・**支援計画の策定**・  
**実行のサポート**を行いながら、

保護者が適切な  
関わりができるよう支援



## ③ 移行支援

獲得  
スキルの  
定着

公共機関  
利用練習

学校との  
連携

支援の中で獲得したスキルを、  
**家庭・学校などの環境でも活用できるように支援**

公共交通機関の利用練習・買い物体験・  
社会適応訓練などの活動を通じて、  
**実生活での応用力を高める**



# キッズハウス 支援プログラム

1 支援の理念

2 支援方針

3 支援プロセス

4 支援内容

**5 職員の質の向上**

6 主な行事・イベント



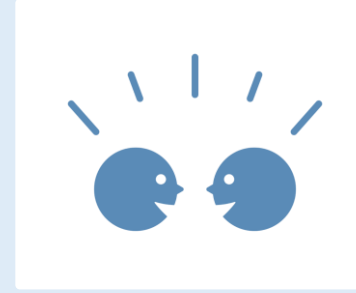
# 職員のスキルアップを目的として、以下の研修を実施します

## 管理者 研修



管理者向け  
リーダーシップ研修

## 育成担当者 研修



育成担当者の  
コミュニケーションスキル  
向上研修

## 新卒・中途職員 研修



新卒・中途職員向け  
療育研修

## 全職員向け 研修



全職員対象の  
事故防止・  
虐待防止研修

職員一人ひとりが高い専門性を持ち、質の高い支援を提供

# キッズハウス 支援プログラム

1 支援の理念

2 支援方針

3 支援プロセス

4 支援内容

5 職員の質の向上

**6 主な行事・イベント**

# 年間を通じ、イベントを実施し、楽しみながら学べる機会を提供



## SSTイベント

- ✓ 職業体験
- ✓ 街探検



## 季節イベント

- ✓ 初詣
- ✓ ハロウィン
- ✓ クリスマス会
- ✓ 進級式



## 学習イベント

- ✓ 科学体験



## 工作イベント

- ✓ スライム作り



## 運動イベント

- ✓ 運動会
- ✓ マラソン



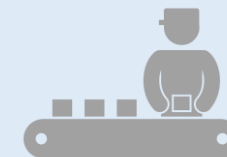
## 音楽イベント

- ✓ リトミック



## 社会科イベント

- ✓ 社会見学
- ✓ 遠足



社会性や協調性を養いながら、成長をサポート